



# Trial & Error それから七輪?!

～一番大切に、一番難しい 現場の声～

原発、障がい者支援、老人介護…様々な場面で本来一番大切なはずの「現場の声」が、なかなか届かないことってありませんか？難民支援の現場も例外ではありません。

国際協力に関心がある人は必ずぶつかる「現場の声」という大きな壁。今回はTrial & Errorを繰り返し、世界最大の難民キャンプ「ダダブキャンプ」で3年近く活動した数少ない日本人である黒岩さんが一時帰国された機会に、現場の声に耳を傾ける意味を一緒に考えます。

この夏ボランティアなどで支援をしようと考えている人、すでに行っている人、勉強したい人にとって、試金石になること間違いなしです！是非お越しください！

**日時: 2013年7月30日(火) 18:30~20:00**

**場所: 広島大学東広島キャンパス**

**西第1福利 多目的ホール1(ローソン横)  
(東広島市鏡山一丁目3番2号)**



**参加費無料、申し込み不要**

**共催: L'harmonie~ラルモニー~, (特活)ピースビルダース**

**お問い合わせ: [hiroshima.yuoth@gmail.com](mailto:hiroshima.yuoth@gmail.com) (赤澤)**

**(番号)080-1646-1509**

## 講師紹介

**黒岩 揺光:**元毎日新聞記者(奈良、尾道支局勤務)。2010年、広島平和構築人材育成センター(HPC)の研修員として、ケニアにある世界最大の難民キャンプの国連事務所に勤務。その後、国際NGOに移り、同キャンプにある七輪工場の工場長となる。約3年に及ぶキャンプでの体験を綴ったブログが「僕は七輪でみんなをハッピーにしたい」(ユーキャン学び出版)と題して今年出版された。現在は、アゼルバイジャンにて国連職員の子に寄り添う専業主夫。熱狂的な赤ヘルファン。

